



6月1日(水)
2022年(令和4年)
発行所:東京都千代田区一ツ橋 1-1-1
〒100-8051 電話(03)3212-0321
毎日新聞東京本社



水問題解決に向けて

WOTA株式会社は現在、世界の水問題を解決する「WOTA BOX」を販売している。2022年6月1日に私たちはWOTAの前田瑤介社長にお話を伺った。

第一歩

今、世界では水不足が深刻な問題として取り上げられて

いる。私たちは日ごろから飲み水やお風呂など、ありとあらゆる場所で水を使用している。そして水は石油のようになくなることはない。では、なぜ水不足が起こっているのか。それは、主に二つの原因が挙げられる。一つ目は、近年の産業の発展によるものだ。実は近代化に伴って工業水や農業水に多くの水が使われ、水は汚染されている。

二つ目は、気候変動によるものだ。気候変動が引き起こす大雨による水害や干ばつで、水が必要なときに必要な場所で効率よく使用できない。今回、紹介するWOTA BOXは、これらの



問題を解決する第一歩になるだろう。

(河野芽衣奈、瀧川勇太郎)

WOTAとは

WOTAという会社を作った背景には、「命に関わるものは、自分たちで関わらなければならぬ」と前田社長自身が感じたからだという。中学生の頃、環境問題に出合

い、アメリカの研究機関に行ったことで、環境問題への関心が高まったという。「今までの方法では解決できないから、新しい方法を」という思いで2014年にWOTAを立ち上げた。その後、5年ほどは研究に費やし、19年11月にWOTA BOXを完成させ、発表した。そのWOTA BOXは大規模な浄水場と同じシステムを小さいサイズにまとめたものである。また20年7月に水循環型手洗いシステム「WOSH」を完成させ、水循環システムを使った製品でリードしている会社であるといえるだろう。

(野澤埜吾)

コンセプト

WOTAのコンセプトは「小規模分散型水循環システムで世界の水問題を解決」である。従来の大規模集中型(上下水道)システムだと建設に数十年かかり、災害に弱いリスク集中型などがある。しかし、このシステムは各家庭で水を循環させるので災害時のリスクを分散させることができる。また、このシステムは1日で設置することができるとができる。素早く導入することができる。世界的にもニーズがあり、今はカリブ海でも導入が検討されている。(谷山朋佳)

目的に合った手段を

今回の講演の裏テーマは、起業やキャリアデザイン

んだそう。自分の目的、

誰かがやらなければいけないことだけれど、誰もやっていないこと。つまり本当に新しいものを作りたいとき、「自分の目的を最短で達成できる手段として起業がある」と前田社長は話していた。また、大企業の役割は、今あるものを支えていくこと。小規模な会社の役割は、新しいことをすぐに試すことである。自分の目的を最短で達成するには、就職がいいのか、起業がいいのか。起業するとしてその会社は、NPOなのかベンチャーなのかを自分でよく考えることが大切だそう。

(I・H、柳澤結菜)



私たちの提案

今回、前田社長のお話を伺って私たちは改めて水不足についての危機感を持たなくてはいけないと感じさせられた。そして、WOTA BOXは、これから世界で起こる水不足問題の解決の手助けとなるだろう。また、私達は、WOTA BOXについて伺い、電気がないと動き始めないため、ソーラーパネルと一緒に購入してもらいたいことを知った。そこで、WOTA BOXの中は水が循環しているので、この中で水力発電の要領で発電ができないのかと考えた。歯車を使って回転数を稼ぎ、写真にあるフィルターの前に置くとWOTA BOXが動くほどの発電ができるのではないかと考えた。そして、動き始めるためのバッテリーを積み重ねれば天候が悪くても動き、コストも抑えることができるのではないかと考えた。(柳澤結菜)